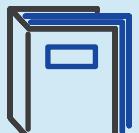
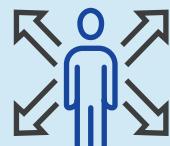




行動規範



従業員の皆さん



私たちは、日々意思決定を行う中において、法的および倫理的な責任を果たさなければなりません。また、日常業務を遂行する中では誠実であるべき義務を負っています。PHCグループの従業員として、正しい行動を取り、正しい意思決定を行うことは、皆さんの責任なのです。そうした正しい意思決定を支えるための指針として、私たちはこのPHCグループ行動規範を策定しました。

本行動規範は、「わたしたちは、たゆみない努力で健康を願うすべての人々に新たな価値を創造し豊かな社会づくりに貢献します」という私たちの経営理念の実現を支えるものであります。更に、私たちの価値観である：多様性とチームワーク、イノベーション志向、チャレンジ精神、高い倫理観とも調和し一致しています。

この行動規範は基本的に倫理観に関するもので

すが、それ以上に、より多様性と包容力のある協力者であり、より良い開発者であり、更にステークホルダのニーズや我々がサービスを提供するまたは事業活動を行う社会のニーズに応えるよう我々自身が挑戦するといった、PHCグループの一人の社員として、共通の目標に向かって協働するチームとして、より良くあるための助けとなる原則をまとめたものです。

ヘルスケア業界において、信頼されるパートナーとなるため、私たちは本行動規範の原則を順守しなくてはなりません。私たちの事業におけるあらゆる側面で本行動規範の原則に則り、一人ひとりの従業員の皆さんのが自信を持って常に正しく、誠実な行動を取ることが求められています。

また、本行動規範に従い行動することは、患者の皆様やお客様の利益にかなうものであると同時に、私たちの組織と個々の従業員の皆さんを守ることにも繋がります。不適切な行動を事前に防止し、また懸念が生じた際には都度それに対応することで、本行動規範は、私たちの事業、個人としての私たち、我々がサービスを提供する人々や、我々が生きている環境にとってのリスクを低減するための一助となるのです。

皆さんには、あらゆる交流や事業活動において、倫理的かつコンプライアンスを順守した行動を心がけていただくようお願いします。本行動規範の基準を採り入れることで、私たち皆がPHCグループの成功に寄与することができるのです。

PHCグループ

A handwritten signature in black ink, appearing to read "John Matlock".

代表取締役社長兼CEO
ジョン・マロッタ

PHCグループ：行動規範2021

すべての国と従業員に適用されるPHCグループ行動規範は、私たちがビジネスをグローバルにどのように運営するべきなのかについての一般的なガイダンスを提供します。PHCグループは、すべてのビジネスパートナーがこれらの基準を満たし、この規範の原則に従うことを期待しています。コンプライアンス分野ごとに編成され、また、当社のビジネスの主要なリスクと倫理的なかつコンプライアンスに沿って行動するための主要な原則に焦点を当てています。この規範は、私たちが遭遇する可能性のあるすべてのケースや状況を網羅することはできず、またそのように意図されていません。

この規範に加えて、適用される地方、国、地域、および国際的な規則、規制、および法律も順守する必要があります。業界団体の行動規範、PHCグループとその事業会社の方針と基準、この行動規範、会社の方針または規程、またはその他の適用される法令または規則の間に矛盾がある場合、当社はそれらの中で最も厳しいものに従います。

PHCグループ経営会議は、規範の採用、伝達、および施行に責任を負います。規範の変更または一部の条項の破棄は、PHCグループ経営会議のみが行うことができます。

多様性とチームワーク：

- 公平かつ敬意ある扱い 6
- 奴隸と人身売買 8
- データ保護 10
- 利益相反 12

イノベーション志向：

- 機密情報 16
- 情報セキュリティ 18
- 倫理的研究 20

チャレンジ精神：

- 反社会的勢力 24
- 安全と環境 26

高い倫理観：

- 腐敗防止 30
- 公正な競争 32
- 貿易コンプライアンス 34
- インサイダー取引 36
- 書類の作成と記録 38

まとめ：

- コンプライアンスのより良い順守に向けて 40



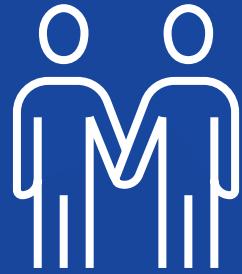
多様性とチームワーク：

多様性はPHCグループの強みです。私たちは、さまざまなアプローチと多様な考え方を奨励します。チームワークを促進し、オープンな双方向コミュニケーションを強化します。

行動規範の中で、「多様性とチームワーク」という価値観を支えるセクションは以下の通りです。

- 公平かつ敬意のある扱い
- 奴隸と人身売買
- データ保護
- 利益相反

公平かつ敬意のある扱い



公平かつ敬意のある扱いとは？

公平であり、敬意を表することは、私たちの組織における行動規範の中核をなすものであり、全ての従業員に求められることです。職場環境においては、互いに尊重し合い、多様性を受け容れ、公正さをもってふるまうべきで、従業員は、不公平な取扱い、差別、ハラスメント、その他の職業倫理に反する、または敬意に欠く言動を受けたり、そうした言動に気を揉んだりすることがあってはなりません。



なぜ重要？

私たちは、従業員を不公平な取扱いや差別から守ります。また、私たちは、従業員が業務に参画して評価されている、最大の自分を見出すと感じられることを望みます。従って、従業員が業務を遂行し、革新し、成長するうえで最も適した環境を作ることに努めます。安全な職場環境のもとでは、従業員は、何か正しくないと思った時に、報復を恐れることなく、誠意を持って声を上げることが奨励されます。

公平かつ敬意のある扱いに関する私たちの規範

- 私たちは、同僚や社外の第三者を含む全ての人々に敬意をもって接し、どのような差別も許容しません。これには、適用される法令のもと違法とされる人種、国籍、性別、年齢、身体的な特徴、社会的背景、障害、労働組合の加入状況、宗教、家族構成、妊娠、性的指向、性的自認または表現、その他の特徴に基づく偏見や差別的な取扱い（意識的または無意識的なもの）が含まれます。
- 私たちは、一切のハラスメントやいじめを禁じます。これらは、威圧的、侮辱的、または攻撃的な環境を作り出すものです。ハラスメントやいじめは、受け手に与える影響によりその有無が判断され、下記に掲げる事項を含みます。
 - 身体的な接触や接近、性的な要求、性的な動機に基づくまたは露骨な発言、ポルノを見せる、他の相手を不快にさせる性的言動によるセクシアルハラスメント
 - 身体への攻撃（暴力を含む）や、心理的な攻撃（いじめ、脅迫、侮辱、暴力的な言葉、過剰な要求、その他の職場における支配的関係を利用した不適切な行動）等のパワーハラスメント
 - 悪意あるうわさ話の拡散、他者を侮辱したり陥れたりする行為
 - 職場における社会的活動からの排除
 - 特定の従業員についての批判を知る必要のない従業員に共有すること
- 私たちは、従業員の安全（「安全と環境」を参照）を最優先事項の一つと考え、特に、有害または潜在的に危険な物質や機械を取り扱う際には細心の注意を払います。

- 私たちは、**違法な薬物のない職場環境**を作ることにコミットします。ついては、不適切または違法な薬物の使用や、その販売・調合を行ったことが判明した従業員には、懲戒処分が科されます。
- 私たちは、従業員の採用、研修、業績評価、報酬決定、利益授与を行う際には、**均等な機会**を促進します。
- 私たちは、不公平または敬意に欠く取扱いを受けた際は、人事部門または法務・コンプライアンス部門に連絡・報告します。

コンプライアンスを確認するには？

全ての従業員にとって安全で居心地の良い職場環境を作るために、次の質問について考えてみてください。

?

同僚による特定の言動が、あなたやその他の誰かを不快にさせていないだろうか？

?

採用決定が、性別、年齢、人種などの不適切な要素に左右されていないと確実に言えるだろうか？

?

あなたは、職場でハラスメント、いじめ、または差別を受けたことがあるだろうか？ あるいは、それらが行われるのを目のあたりにしたことがあるだろうか？

“ PHCグループは、従業員が業務を遂行し、革新し、成長するうえで最も適した環境を作ることに努めます。



奴隸と人身売買



i 奴隸と人身売買とは？

奴隸は、一人の人間が他の人間に所有されることです。人身売買とは、強制労働、性的奴隸制、または商業的性的搾取を目的とした、国内または国際的な人身の売買です。これらは、貧困、無法、社会的不安定さ、軍事衝突、自然災害、法律の執行の弱さ、及び人種及び性別による差別によって襲われたコミュニティで蔓延しています。人身売買は、国際労働機関が発した強制労働条約（第29号）および強制労働廃止条約（第105号）、カリフォルニア州民法、米国人身売買との闘い規制及び英国現代奴隸法のような国際法によって統治されています。



なぜ重要？

奴隸は自由人が通常保有しているほとんどの権利を人から奪います。

人身売買は、人が商業的に利用され、強制を通じて移動する権利に違反することから売買される個人に対する犯罪です。人身売買の意識は予防への第一歩です。PHCグループは、違法且つ私たちの会社の価値観に直接対立することから、いかなる種類の奴隸や人身売買を許容しません。

人身売買に関する私たちの規範

- 私たちは、各国および地域の法令に基づく**基本的人権を尊重**します。
- 私たちは、基本的人権を**促進し、確保する**ために、業界のリーダーとしての役割を果たすよう努めています。
- 私たちは、奴隸、人身売買或いは人権の類似の人権の乱用を**許しません**。このことは私たちのすべての事業会社、流通パートナー、ベンダー及び顧客の活動に適用されます
- 私たちは事業活動において**強制労働**を行いません。
- 私たちはいかなる状況においても児童或いは強制労働を**禁止**します。
- 私たちは、最低賃金、時間外労働及び義務づけられた給付を含む**適用される賃金法**に従い雇用者に支払います。
- 私たちは、請負業者、サプライヤー及び他のビジネスパートナーに、基本的人権について同様の敬意を払ってサービスを提供することを期待しています。私たちは、奴隸と人身売買に関する法や規制に**違反**したり、人身売買に関する本行動規範を順守しない取引先や仕入先とは取引しません。

- 私たちは、人身売買の試みに対して警戒します。
- 私たちは、私たちのすべての事業活動において現代奴隸及び人身売買のリスクと戦います。
- 私たちは、個人或いは団体と取引関係を開始する、或いは更新する際には、奴隸或いは人身売買にかかわっていないことを確認するための第三者デューデリジェンスを実施します。もし個人或いは団体がそのような活動にかかわっていることがわかった場合には、ビジネスを行わない、或いはビジネス関係を終結します。
- 私たちは、奴隸及び人身売買の防止に関して、毎年教育を行うと共に私たちの行動規範、ヘルplineへのアクセスその他の定期的なコミュニケーションを行います。
- 私たちは、必要に応じて社内の専門家に相談し、人身売買違反の可能性を示す危険信号を報告します。

コンプライアンスを確認するには？

人身売買と闘うために、次の質問を考えてみてください。

?

奴隸と人身売買に対するPHCグループの姿勢を知っていますか？

?

ビジネスパートナーからあなたが奴隸や人身売買に関する私たちの姿勢に反するかもしれない行為や活動を見たことがありますか？

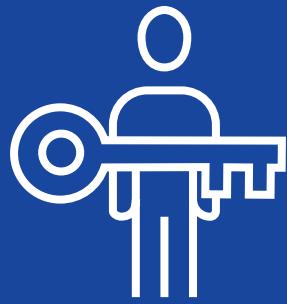
?

奴隸や人身売買の兆候を上司に報告することを知っていますか？



“PHCグループは、いかなる種類の奴隸や人身売買を許容しません。

データ保護



データ保護とは？

データ保護とは、個人情報や重要情報の取得、取り扱い、保管を行ううえで、これらの情報の盗用、紛失、または不正使用から守るプロセスをいい、情報の保護を確実に行うことを意味します。多くの国や地域では、個人情報の取扱いを規制し、かつ個人情報の取扱いをめぐる個人の権利を定める法令が施行されており、私たちはこれらを順守しなくてはなりません。



なぜ重要？

PHCグループは、個人情報を取り扱ううえで、個人の権利保護に努めます。これは、従業員、顧客、サプライヤー、ビジネスパートナー、患者を含む個人情報に適用します。私たちは、事業のあらゆる側面で様々な情報を活用していますが、多くが機密情報や機微な情報、または健康に関わる情報です。こうした情報の完全性を保持し、高い信頼性と倫理観を備えた組織と認識されるためには、情報保護が必要不可欠です。適用される全ての法令を順守し、必要な対策を講じて情報を保護することは、私たちの責任です。

データ保護に関する私たちの規範

- 私たちは、適法かつ公正に、透明性を持って個人情報を取り扱います。また、関連法規の定めに従い、利用目的を明確にし、**同意**を得たうえで利用します。
- 私たちは、取得**目的**に応じ必要な範囲内において個人情報を利用し、目的を変更する場合は、個人から同意を得るか、関連法規の定めに従いこれを行います。
- 私たちは、**業務上の必要性**が明確に認められる場合にのみ（必要な期間のみ）個人情報を取得し、取り扱います。また、個人の健康に関する情報のような機微な情報については、機密性を確保し不正な使用を防ぐためにも、より厳格な保護基準が求められます。
- 私たちは、個人情報を**正確**かつ最新の状態で保管し、適切かつ合理的な措置をとったうえで、誤った情報や不完全な情報を修正または削除します。
- 私たちは、適切な**セキュリティ対策**を講じ、保管している個人情報を保護します。これらの対策は、個人情報が保管されるシステムやアプリケーションへの物理的または技術的なアクセス権を制限することを含みます。（PHCグループのあらゆる形態の機密情報の保護については、「情報セキュリティ」及び「機密情報」を参照）
- 私たちは、業務上正当な必要性が認められる場合や関連法規で認められる場合を除き、個人情報を社内外に**開示**しません。

“ PHCグループは個人情報を取り扱ううえで、個人の権利保護に努めます。

- 私たちは、適切なセキュリティ実務と暗号化やアクセス権の制限等、技術的な対策を講じることにより、**データインシデント**（個人情報の不正あるいは違法な利用、紛失、破壊、損傷などが起こる、または疑われるケース）を防ぎます。私たちは、データインシデントによる損失を最小限に留めるべく努め、いかなるインシデントも適用される法令に則り適切に対処します。
- 私たちは、個人情報の守秘と保護を目的に制定された、**適用される全てのデータ保護法または個人情報保護法**を順守するとともに、個人情報にアクセスすることのできるビジネスパートナーやサービスプロバイダーにも同様にこれらを順守することを求めます。

コンプライアンスを確認するには？

個人情報の利用にあたり、最適な行動を判断するために、下記の点について考えてみてください。

?

私はこの情報にアクセスする必要があるだろうか？必要がある場合、私は、関連法規の定めに従って取り扱うことができているだろうか？

?

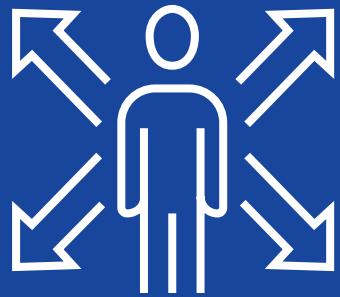
私が取り扱うこの情報は、特別な対策により保護する必要がある情報だろうか？この情報は、もし私個人のものであったなら、必ず保護してほしいと思うような機微情報にあたるだろうか？

?

もし私がこの情報を紛失したり誤って開示したりすれば、どのような被害や損害が発生するだろうか？



利益相反



i 利益相反とは？

利益相反とは、企業と従業員など異なる二者の間で、その目的や関心が相反している状態をいいます。利益相反が生じると、従業員は自らの私的利害関心を会社の利害関心と切り離すことが難しくなり、特定の状況においては、個人の潜在的な利得のために私的利害関心を会社の利害関心よりも優先させてしまうといった許容されがたい事態へつながることがあります。

！ なぜ重要？

PHCグループでは、全従業員が、常に会社の利益を最優先に行動し、公正な意思決定を行うことが求められています。こうした行動を取ることと、透明性を確保することで、私たちは品位を保ち、顧客やビジネスパートナーやお互いの信頼を保つことができるのです。従業員は、その意思決定や職務遂行に悪影響を及ぼす可能性のある私的利得の追求を行うべきではありません。また、利益相反と見なされる行為を行うことは、実際の利益相反行為を行うことと同様に信用を失墜させる結果となることがあります。

利益相反行為に関する私たちの規範

- 従業員の処遇をめぐる意思決定を行う際、または第三者と取引を行う際には、**客観的基準**（従業員の処遇をめぐっては、能力、業績、職場環境におけるふるまい、第三者との取引については、価格、品質、信頼性、技術的基準への合致能力など）を用います。
- 私たちは、社内外関係者と今日までに築いたいかなる関係性についても、直属の上司、法務・コンプライアンス部門、または人事部門に、**透明性**をもって開示します。これにより、個人的な関係性に左右されことなく、会社の利益にかなう意思決定を確実に行います。
- 私たちは、**社外の就業機会**や兼業機会を受け入れる際には、利益相反が生じる可能性に基づき、注意深くこれを行います。また、こうした社外の就業機会については、直属の上司や人事部門に連絡・相談し、以下に掲げる行為を行う以前に事前承認を得ます。
 - サプライヤー、競合他社、第三者の役職に就任する
 - 自身で事業を立ち上げる、またはフリーランスでサービスを提供する
 - 第三者の組織で取締役に就任する
- PHCグループの社員が営利団体の**取締役**に就任するためには、PHCグループのゼネラルカウンセルの書面による事前承認が必要となります。また、CEO直属の社員の場合には、CEOの書面による承認が必要となります。

- 慈善団体や地域のスポーツクラブの役員に就任する際は、承認は必要ありません。私たちは、従業員が自らの時間、資金、その他リソースを使って地域社会に貢献したいとするその意志や希望を支援します。しかし、そうした活動は就業時間外でのみ、従業員自身のリソースを利用し行うべきもので、業務の遂行を妨げるものではありません。

- 事業活動における関係者とのやり取りを通じて、現金、贈答品、接待、食事などいかなる個人的利益についても、客観的な意思決定を行う能力に影響を及ぼしうることから、これを要求することはできません（利益の供与や受領についての詳細は、本行動規範の「腐敗行為の禁止」を参照ください）

- 私たちは、会社資産を適切かつ注意深く取り扱い使用する責任を担っており、私的利用はしません。同様に、会社資産を所定の手続きを経ることなく処分しません。

- 私たちは、政治的な衝突を避けます。

- 私たちは、不適切な政治的活動や表現によりPHCグループの利益が犠牲になることがないように事業を行います。
- 私たちは、PHCグループの資産を利用し、またはPHCグループ全体や各社を代表して、職場における保護を受けていない政治的活動は行うことはしません。
- PHCグループ各社を代表して行う慈善的寄付は、適切な規程に従い許可を得た上で実施します。

- 業務上のコミュニケーションにおいてソーシャルメディアを利用する場合は、PHCグループを代表する立場にあることを常に自覚し、以下に掲げる事項を順守します。

- PHCグループまたはPHCグループの事業会社の名のもとに投稿する際は、事前にコミュニケーション部門から承認を得ること
- プラットフォームは、責任を持ってPHCグループの利益を最優先に考えて利用すること
- 侮辱的または攻撃的なコンテンツや社内の機密情報は決して投稿・公開しないこと
- 個人のソーシャルメディアチャネルを利用して業務に関する話題に触れる際は、あくまで私見であり、PHCグループの見解を示すものではないことを明示すること

コンプライアンスを確認するには？

私たち自らの私的利害関心とPHCグループの利害関心を区別することは、PHCグループの従業員である皆さんの責任です。特定の状況下で最善の行動を判断するために、下記の点について考えてみてください。

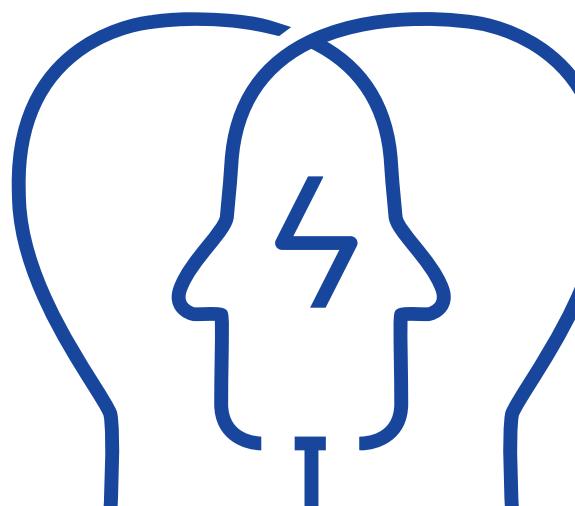


私は、PHCグループにおける役職を利用した特定の意思決定によって、個人的な利益を得ていないか？



私は、この状況で（会社の利益を優先させるべきと分かってはいても）個人的な利益とPHCグループの利益とのいずれかを選ぶことを強いられていないか？

“ PHCグループのすべての全従業員が、常に会社の利益を最優先に行動し、公正な意思決定を行うことが求められています。





イノベーション志向：

私たちは、自分たちのアプローチにおいて、新しい思想を取り入れ、柔軟性があり、お客様のニーズに焦点を当てる起業家です。私たちは、リスクを取り、説明責任を果たし、失敗から学ぶことを奨励することで、イノベーションが生まれる環境を作り上げていくことを目指します。

イノベーション志向の価値をサポートする行動規範のセクションは次のとおりです。

- 機密情報
- 情報セキュリティ
- 倫理的研究

機密情報



i 機密情報とは？

機密情報とは、研究開発計画、財務情報、事業戦略等の、通常は社外関係者が知り得ることのない情報をいいます。また、**知的財産**の一部の形態も機密情報であるとされます。知的財産とは、企業の創作活動において得られた成果や発明を指し、特許権、著作権、または商標権により保護されます。

！ なぜ重要？

PHCグループの事業を成功裡に運営し、私たちの製品・ソリューションを社会に提供するうえで、機密情報は重要な役割を担っています。特に、知的財産権は、私たちの製品を許可なく模倣または複製しようとする競合他社から、従業員のたゆみない努力とイノベーションの結果として得られる成果や発明を守る重要な資産といえます。

機密情報に関する私たちの規範

- 私たちは、公共の場所で業務または協議する際は、機密情報の開示、紛失、盗用、または不正利用を避けるべく十分に**注意し**、原則として社外関係者に共有する機密情報の種類や量を制限します。
- 私たちは、機密情報を第三者に提供または第三者から受領する前に、機密情報の使用における条件を定めた**契約書**を締結します。機密情報には、研究、新製品、マーケティング計画、財務予測、事業開発のための提携についての詳細、統合または企業買収などに関する未発表の情報が含まれます。
- 私たちは、他社から入手した機密情報については、自社の機密情報と**区別**したうえで、他社の情報が、社内で独自に開発・獲得された知識と混じることのないよう管理します。
- PHCグループを退職した従業員**については、PHCグループの会社で得た情報を、新たな就職先等のために使用することを含め、他の目的で保持または利用することを禁じます。同様に、PHCグループの**従業員**については、前職で得た情報（顧客連絡先リストなど）を、PHCグループにおける役割において利用することを禁じます。

- 私たちは、業務上の責任を果たすうえで必要な場合においてのみ、PHCグループの**知的財産**を利用します。通常、知的財産には、下記に掲げるものが含まれます。
 - 特許
 - 商標権およびロゴ
 - 著作権
 - 製造工程、製造手法、および設計
 - その他の機密情報 例：企業秘密やノウハウなど
- 私たちは、すべての**パートナー及び外部利害関係者**の、知的財産及び機密情報を尊重し、許可を得た場合やその他の権利により約束された場合を除き、そうした情報を利用、複製または組み入れることはしません。



コンプライアンスを確認するには？

PHCグループの機密情報や知的財産に関して議論を行ったり行動を起こしたりする前に、それぞれの状況について判断するために、下記の点について考えてみてください。

?

私が**共有しようとしているPHCグループ**の情報は、**対外的に公表**されているものだろうか？もしそうでなければ、**契約書**によって**カバー**されているだろうか？

?

私がいるこの場所は、**機密情報**について**話したり見るのに相応しい環境**だろうか？

?

私がこの行動を取ることによつて、**PHCグループの会社**が、**他社の権利を侵害する可能性**はあるだろうか？

“PHCグループの事業運営を成功裡に運営するために機密情報は重要な役割を担っています。

情報セキュリティ



i 情報セキュリティとは？

情報セキュリティとサイバーセキュリティは、不正アクセス、不注意による開示、外部からの攻撃からITリソースを保護するために講じられる対策です。これらの措置は、当社の事業および製品全体にわたる当社のデータおよびサービスの継続的な機密性、完全性、および可用性を確保することに重点を置いています。情報セキュリティは、PHCグループにおける個人情報及び重要な情報を守るプロセスであるデータ保護と密接に関係しています（「データ保護」の項を参照下さい）。ITリソースとは、PHCグループの事業会社からのラップトップ、モバイル機器、サーバー、クラウドアプリケーション、ビジネスアプリケーション、デジタル製品、およびそれらに保存されているデータを指し、直接（物理的など）または間接的（インターネットなどを通じて）にアクセスできるものをいいます。

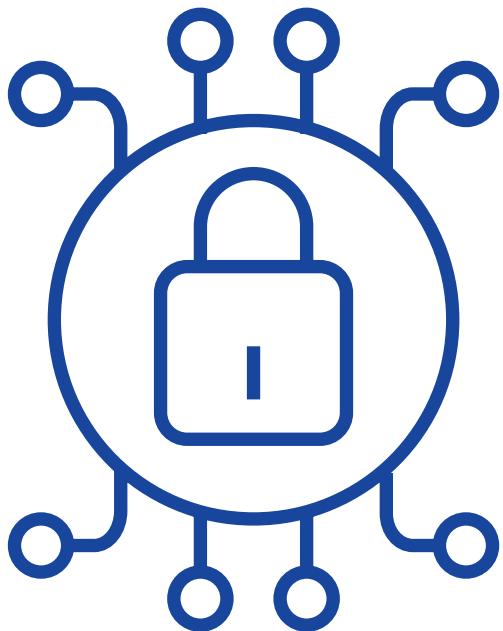
！ なぜ重要？

PHCグループは、私たちの事業において保有している情報とデータの保護に努めています。有効な情報セキュリティは、財務、規制、評判への影響から組織を守ることを助けます。さらに、私たちのミッションの達成と私たちが信用される組織であるとみられることを確実なものとします。私たちの資産を保護し、情報セキュリティインシデントに対する復元力を構築することで、お客様にサービスを提供する能力をさらに高めます。サイバーセキュリティを念頭に置いて製品を設計することは、競争上の優位性を生み出し、お客様のご要望によりお答えできることに役立ちます。

情報セキュリティに関する私たちの規範

- 私たちは、ITリソースの適切なビジネス使用を保証します。当社の規程で定義されているように、私たちは、PHCグループの事業を遂行するためや、会社の仕事やセキュリティに影響を与えない範囲での個人的な使用のために、それらを使用することができます。
- 私たちは、ITリソースを紛失や盗難から保護します。
- 私たちは、優秀なセキュリティのプラクティスを採用し、ITリソースのセキュリティを確実にするための技術的な手段を使用します。（パスワード保護、暗号化、アクセス制限など）
- 私たちはソーシャルエンジニアリングやフィッシングの試みに警戒しています。私たちは、十分な防御を確保するためにそのような試みを情報セキュリティ室に報告します。
- 「セキュリティ・バイデザイン」を実施することで、お客様に対する製品のセキュリティを確保しています。
- 私たちは、リモートまたは公共の環境で作業するときについての機密情報を保護し、機密情報を適切に処分します。
- 機密情報を正しく識別し、タグ付けを行い、共有する際には適切な予防措置を講じます。

- セキュリティインシデントやサイバー攻撃を情報セキュリティ部門に直ちに報告することにより、その影響を限定します。
- 私たちのコンピュータシステムやネットワークのセキュリティ対策を回避しようとはしません。
- 必要に応じて社内の専門家を雇い、優れたセキュリティ慣行の実装を支援します。



コンプライアンスを確認するには？

個々の情報セキュリティの状況を評価するためには、次の質問を考えてみてください。

- 仕事に使用しているデバイスは、PHCグループのIT要件に準拠していますか？
- PHCグループのITリソースを個人的に使用すると、会社のビジネスやセキュリティに障害を与えるますか？
- 私の所持している全てのITリソースは適切に分類され、盗難や紛失から保護されていますか？
- 私は電子メールやシェアポイントやその他の手段で共有する際に、情報を適切に保護していますか？
- 私はフィッシングやソーシャルエンジニアリングの試みを認識する方法を知っていますか？

“ PHCグループは、私たちの事業において保有している情報とデータの保護に努めています。

倫理的研究



i 倫理的研究とは？

科学的および臨床研究は、科学の理解を深め、人々の健康と私たちの環境を促進することができます。しかし、それは研究への参加者と研究結果の完全性を保護するような形で行われなければなりません。倫理的研究は、患者のボランティア、実験の対象となる動物、および研究自体の完全性を保護します。倫理的な研究活動は、研究への参加者への説明、人権とプライバシーの保護、動物の人道的な扱い、研究活動の公平性などを含む特定の原則に従います。

⚠ なぜ重要？

倫理的研究は、人間と動物の尊厳を保護し、危害の可能性を制限し、正確で十分に裏付けられた臨床結果と科学的結論を確実にするのに役立ちます。非倫理的な方法で研究を行うことは、ヘルスケアの信頼できるパートナーおよび社会の一員としての私たちの評判を深刻に損なう可能性があります。PHCグループは、これらの倫理的研究の原則に従った研究のみを実施し、パートナーが私たちに代わって研究を行っている場合には、それらに従うパートナーと協力します。

倫理的研究に関する私たちの規範

- 人間が関与する研究を行う場合、PHCグループは国際的な研究倫理ガイドラインに準拠します。
- 私たちは、研究対象者の個人の尊厳と人権を尊重します。
- 動物を対象とする研究を行う場合は、最初に科学的根拠を確保し、**3つR (Reduce, Replace, Refine) を順守**して行います。
 - 可能な限り、研究に使用する動物の数を減らします。
 - 可能な場合は、動物実験を他の選択肢に置き換えます。
 - 研究動物に誘発する痛みを制限するためのアプローチに磨きをかけ、常に動物を可能な限り人道的に扱います。
- 私たちは常に**正確で繰り返し可能な方法**で研究を行うよう努めており、研究結果に裏付けられた結論のみを出すように最善を尽くしています。

- 私たちは人間や動物を**単なる研究の手段**として扱いません。
- 私たちはすべての参加者を研究に伴うリスクから**守ります**。



コンプライアンスを確認するには？

倫理的研究の観点であなたの行動が適切であるかどうかを評価するのを助けるために、以下の質問を考えてみてください。

- ？ その研究は適切な事前審査を行い、すべての規制とベストプラクティスに従って実施されていますか？
- ？ あなたは、明確に定義された科学的な目的と研究を実施する必要性をもっていますか？
- ？ 動物を使って研究するとき、3つのRを実施していますか？

“ PHCグループはこれらの倫理的研究の原則に従った研究のみを実施します。



チャレンジ精神

私たちは、従業員に新しいことに挑戦し、それらの経験を利用して専門能力を伸ばしてもらいたいと考えています。私たちは従業員がお互いに挑戦し、フィードバックするよう求めます。組織および個人として、私たちは説明責任を果たし、変化していくことにより成長していきます。

チャレンジ精神の価値をサポートする行動規範のセクションは次のとおりです。

- 反社会的勢力
- 安全と環境

反社会的勢力



i 反社会的勢力とは？

反社会的勢力とは、反復継続して法律違反の行為を犯したり、法律違反行為を犯すことによって違法な経済的利益を得たりする団体や個人のことです。反社会的勢力には、組織犯罪グループ、組織犯罪グループのメンバー、組織犯罪グループに関する会社や団体が含まれます。また、反社会的勢力には、直接または他者を介して暴力による要求をしたり、脅迫的な言葉や行動によって不当な要求をしたり、虚偽の噂を広めることにより、信用を傷つけたり、他人のビジネスを妨害したりする人々が含まれます。

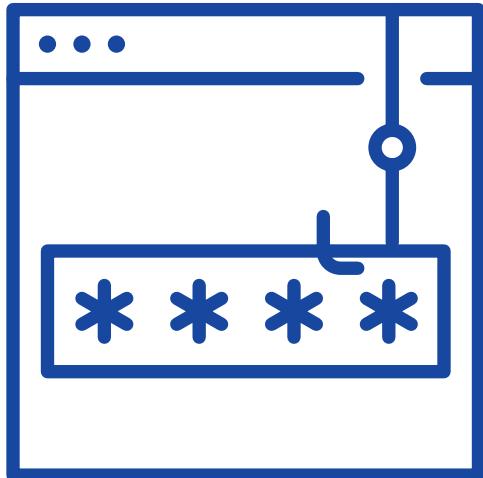
！ なぜ重要？

PHCグループは、いかなる違法行為も許容しませんし、そのような違法行為を行う反社会的勢力と関係を持つことはありません。反社会的勢力と関係を持つことは、私たちの尊厳を損ない、社会の信頼できる一員としての評判を損なうことになります。反社会的勢力の活動を積極的に報告することで、同様の活動を防ぐことができます。反社会的勢力は従業員の安全を脅かし、社会の秩序や社会の安全を脅かす可能性があるため、これは重要なことです。

反社会的勢力に関する私たちの規範

- 私たちは、法を遵守した事業活動を行っている信頼のにおける第三者とのみ事業を行います。
- 私たちは、反社会的勢力、組織犯罪、腐敗組織、テロリスト活動、またはマネーロンダリングに関与している、または関与したことのある個人または団体とは取引関係を持ちません。
- 私たちは、犯罪やテロリスト活動と継続的な関係があるために制裁を受けたことがある個人や団体とは取引関係を持ちません。
- 私たちが個人または団体との取引を開始または更新する場合、そのような個人または団体が反社会的勢力のメンバーではないことを確認するために第三者調査を実施します。もし、個人または団体が反社会的勢力のメンバーであることが判明した場合、当社はそのような個人や団体とは取引を行わず、既存の事業関係があれば、それを解消します。
- 私たちは、反社会的勢力およびその他の形態の腐敗行為や違法行為を禁止するための条項を第三者との契約に含めます

- 私たちは、反社会的勢力の企てに注意を怠りません。
- 私たちは、内部の専門家と相談し、反社会的勢力との関係を疑う危険信号があれば、それらを報告します。



コンプライアンスを確認するには？

あなたの反社会的勢力との関係遮断を支援するために、次の質問を参照してください。

- **あなたは、反社会的勢力に対するPHCグループの姿勢をご存知ですか？**
- **あなたは、ビジネスパートナーや仕入先が犯罪行為や反社会的勢力とは関係ないことを確認していますか？また、ビジネスパートナーや仕入先に対し、契約において反社会的勢力ではないことの確認を要求していますか？**
- **あなたは、反社会的勢力の懸念を察知した場合、それを上司に報告すべきことを知っていますか？**

“ PHCグループは、いかなる違法行為も許容しませんし、そのような違法行為を行う反社会的勢力と関係を持つことはありません。

安全と環境



安全と環境とは？

従業員の安全を確保し、自然環境を保護することは、責任ある倫理的な事業運営を行うことに対する私たちの約束を果たすうえで欠かせない重要な役割のひとつです。私たちは、職場における危険を特定し、事故を防ぎ、有害な状況にさらされるような事態を最小限に留めることを目指します。また、製品の開発、製造、販売にあたっては、環境規制を順守し、安全性と持続可能性を高めることに努めます。



なぜ重要？

従業員の健康・安全と、社会・環境の健全性・安全性を図ることは、PHCグループの成功に欠かせない重要なことです。従って、従業員やその他の当社施設で働く従業員などに対して適切な条件を備えた安全な職場を提供することは最優先事項です。PHCグループにとって、従業員を守り、環境を保護することは、法的または社会的な義務であるだけでなく、事業に欠かせない大事なことです。私たちは、環境保護と従業員の安全を確保するための取組みは、製品の品質、生産性、コスト効率に関する問題と同様に重要であると考えています。

安全と環境に関する私たちの規範

- PHCグループの施設においては、私たちの職場、および事業が、全ての適用される健康、安全、または環境保護に関する法令、規制、規程、手続き、ベストプラクティスを確実に順守するよう努めます。
- 私たちは、職業安全衛生に関する規範や規制を順守することを通して、**安全で衛生的な職場**を作り、製造現場・オフィス環境・顧客のサイトやリモート環境を含むその他のあらゆるフィールドにおいて、事故、怪我、または病気への罹患を最小限に留めることに努めます。
- 私たちは、PHCグループ全体で環境に優しい事業活動を推進する教育活動を通して従業員の**環境意識**を高める取組みを行います。
- 私たちは、製品ライフサイクルの全体、また、研究開発、調達、製造、輸送、マーケティング、営業、メンテナンス、廃棄・リサイクルなどの製造の全行程を通して、**環境への悪影響**を削減するための努力を継続します。
- 私たちは、気候変動の非常に重要な課題を認識し、完璧な**環境的に持続可能なオペレーション**の実現に向けて努力します。

- 私たちは、従業員として、安全で責任ある行動を取り、職場の安全や健全な環境を脅かす事故や危険な状況については、直属の上司に**速やかに報告**することが求められています。
- 私たちは、**ビジネスパートナー**にも、環境または従業員の安全についての同様に高い基準を順守することを求め、個別の対話を通じて基準の順守状況を確認します。

コンプライアンスを確認するには？

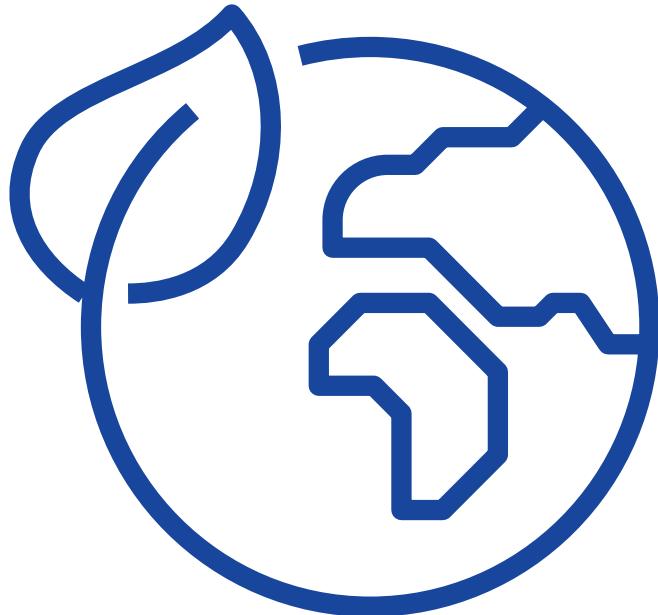
私たちの行動または職場が、従業員または環境にとって安全なものであることを確認するためには、下記の点について考えてみてください。

?

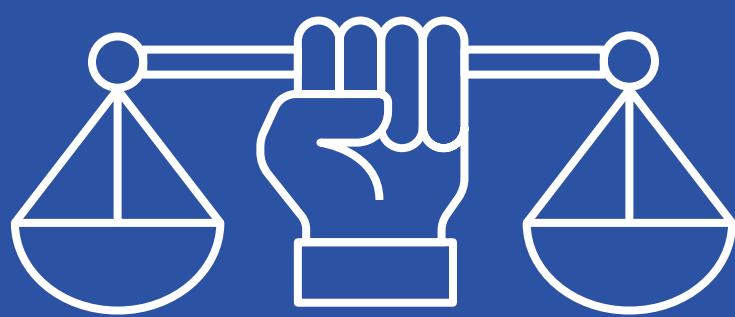
私は、業務を遂行する際に、適切かつ確立された安全対策に従っているだろうか？

?

PHCグループの安全対策や環境対策が順守されていない状況や、改善が必要と思われる状況を目の当たりにしたことがあるだろうか？



“PHCグループにとって、従業員を守り、環境を保護することは、法的または社会的な義務であるだけでなく、事業に欠かせない大事なことです



高い倫理観:

コンプライアンスと倫理観は私たちのビジネスの基本原則です。私たちは、すべての事業活動において、誠実さ、公正さ、透明性を約束します。私たちは最高水準の品質と卓越性を信じています。

この行動規範全体が私たちの高い倫理観の価値をサポートしていますが、特にこの価値と合致しているものとして私たちが選んだものは次のとおりです。

- 腐敗防止
- 公正な競争
- 貿易コンプライアンス
- インサイダー取引
- 書類の作成と記録

腐敗防止



腐敗行為とは？

腐敗行為とは、責任ある立場にある個人や団体（政府関係者など）の行動や意思決定に影響を及ぼす、または及ぼす可能性のある、利益の申出・約束・提供若しくは受領が含まれる、不正な、非倫理的あるいは違法な行為のことです。腐敗行為は、キックバックや贈賄などの様々な異なる形態を取ることがあります。また、腐敗行為や賄賂は、賄賂を要求したり受け取ったりする不正行為を指すこともあります。能動的な腐敗行為／賄賂は贈賄する側で、受動的な腐敗行為／賄賂は収賄する側で起こります。



なぜ重要？

PHCグループは、いかなる類の腐敗行為や贈収賄も許容することはありません。これらの行為は違法であり、私たちの価値観と相容れることのない不誠実な行為です。また、これらは私たちの品位を損なうものもあります。信頼されるパートナーとして評価され続けるためには、一人ひとりの従業員が正しい行いをし続けること以外に方法はありません。PHCグループは、腐敗行為や贈収賄、その他の不正な利益供与や受領を伴うビジネスの機会は、いかなるものであってもこれを追求することはありません。腐敗行為や贈収賄を伴う活動は、いずれも深刻な罰金、訴訟、売上の消失、信用の著しい失墜につながる可能性があります。

腐敗防止に関する私たちの規範

- 私たちは、個人または団体の意思決定に不当な影響を及ぼすことを意図する（またはそう見なされる）利益の供与またはその申出を決して行いません。「不当な影響」とは、利益の受益者にその立場をして利益の供与者に職務上の便宜を図ってもらう意図のことです。
- 私たちは、贈賄または不正な利益供与と見なされる、以下を含む利益の供与にあたっては慎重に吟味し、取り扱います。
 - 現金、ギフトカードまたは現金同等物
 - 贈答品、食事、旅行または接待
 - 娯楽行事への特別招待
 - 雇用またはビジネスの機会
 - 個人的な依頼への対応
 - 慈善寄付
 - 無料または割引商品
- 私たちは、利益相反がなく、不正な影響を及ぼすことのない限られた状況において、要求をしていないさやかな贈答品、接待や食事の提供を受けることは認められます。ただし、贈答品や接待の取り扱いについては、適用される全ての法令や業界ルールを順守することが求められます。
- 私たちは、他の個人や法人（例：ビジネスパートナーや家族）を利用し、これらの個人や法人を通じて、従業員であれば申出・供与することが認められない利益の申出・供与を行いません。

- 私たちは、合法的な事業活動に従事する信頼に足る**第三者**とのみ取引を行い、反社会的勢力とは一切の取引関係は持ちません（「反社会的勢力」のセクションを参照）。
- **医療従事者**への対応にあたっては、具体的かつより厳格な規制、業界ルールやPHCグループ各社の規程が適用されます。原則として、医療従事者に対しては、その意思決定に不正な影響を及ぼし、PHCグループ会社の商品・サービスを推奨・購入・または供給してもらう等の意図を伴ういかなる利益の供与や申出も行うべきではありません。
- 私たちは、全ての事業取引、特に医療従事者を含む第三者との取引については、適切に書類をもって記録することにより**透明性**を確保します（「書類の作成と記録」のセクションを参照）。また、法律や業界ルールにより求められる場合には、医療従事者や他の受益者に供与した利益またはその価値を報告・開示します。
- 私たちは、事業活動に従事する個人が**公務員・政府関係者**であるか否か、またそうした状況下においてどのような条件が適用されるかについて、公務員・政府関係者の責任ある立場に鑑み、ほとんどの国や地域で厳格な法律やルールが適用されていることからも、特段の注意を払い吟味します。
- 私たちは、米国における海外腐敗行為防止法（FCPA）や英国における贈収賄禁止法（UKBA）を含む、当該国・地域及び国際的に**適用される**、腐敗防止に関する全ての**法律やルール、その他の業界規制**等を厳格に順守します。

“ PHCグループが信頼されるパートナーとして評価され続けるためには、一人ひとりの従業員が正しい行いをし続けること以外に方法はありません。

コンプライアンスを確認するには？

贈答品や接待、その他の価値を有する物品や利益の申出や供与、依頼や受領を行う前に、それぞれの状況について判断するために、下記の点について考えてみてください。

?

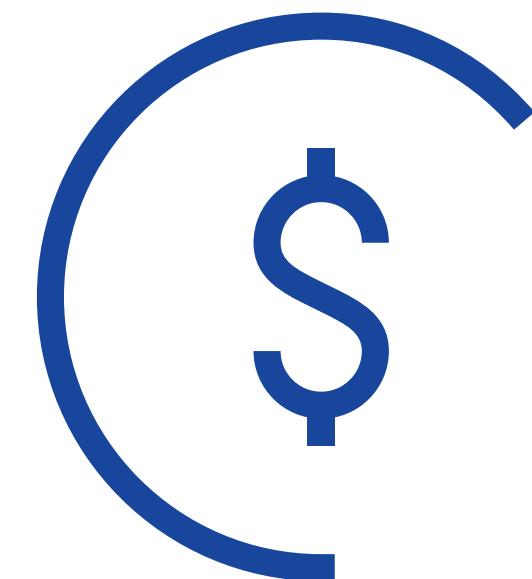
私の行動は、他の人に不正な影響を与え、私個人やPHCグループのために何かをしてもらうためのものと見られる可能性はあるか？

?

この利益を受け取つたら、私の行動はこのことに影響されたように見られる可能性はあるか？

?

私は、特に医療従事者や公務員への対応において、利益の供与（受領）に関して適用される全ての法律やルールに適切に従っているか？



公正な競争



公正な競争とは？

公正な競争とは、いかなる企業も不公平な優位性を得ることのない開かれた市場を意味します。各国政府は、略奪的な商慣行から消費者を守ることを目的とした競争法や独占禁止法の施行を通じて企業の商慣行を規制し、公正な競争の促進を図っています。一方で、公正な競争を阻む活動は、関連市場における企業の間や、特定の商品をめぐるサプライチェーンとの間で、一社が支配的な地位を占める場合や、企業の統合を背景に行われる場合もあります。また、不公平な商慣行は、企業が特にそのプロモーション活動において、嘘や虚偽または誤解を招く表現や行動を用いて活動する際に行われる場合もあります。



なぜ重要？

公正な競争を阻む活動や不公平な活動は、市場を弱体化し、消費者の利益を損なうものです。私たちが事業活動を行う市場において信頼されるパートナーであり続けるために、PHCグループは、公正な競争を推進し保護することを目的に制定された法令を厳格に順守します。また、PHCグループの各社は、自らが提供する製品・サービスの価値において競争し、その活動は開かれた市場を促進するものでなければなりません。競争法や独占禁止法に抵触する行為は、（会社及び従業員個人に対する）重大な罰金や訴訟、売上の消失、信用の著しい失墜につながる可能性があります。PHCグループは、従業員や仕入先、サプライヤーや、その他ビジネスパートナーによる公正な競争を阻む行為を許容しません。

公正な競争に関する私たちの規範

- 私たちは、競合他社との間で**事業上の機微な情報**（製品・サービスの価格、販売量、生産能力、戦略的取組みなど）の交換や協議は行いません。これは、トレードフェア、展示会、業界団体の会合の場等の機会においても適用します。
- 私たちは、競争を限定または制限する意図を持った（またはそう見なされる）、または結果として競争を限定または制限する**競合他社**との合意、協定、取決め、協業などは決して行いません。これは、書面や口頭または単なる当事者間の共通の理解であるか否かに問わらず、すべての合意や協定を含みます。
 - 厳格に**禁止される**競合他社との取決めの例
 - 価格協定
 - 市場の割り当て（地理的、販売ルート、顧客など）
 - 生産の制限
 - 談合（共謀入札）
- 私たちは、**顧客やサプライヤー**に独占的権利を付与する際、または商品・サービスの使用、再販、価格設定における手法が限定されるような合意を締結する際には、注意深くこれを行います。例として、当社から商品を供給する以前に競合他社の商品の販売を控えるよう顧客に求めるようなことはしません。
- 私たちは、特定の市場において、合法的に**支配的地位**を特別に獲得することがあるかもしれません。しかし、そうした支配的地位を利用して、非合法的に競争を排除したり、市場への参入による新たな競争を妨害

したり、価格操作を行ったりすることは決してありません。同様に、影響力を伴う市場シェアをもって、計画的に原価より安く商品を販売したり、顧客が他の商品の購入に同意しない限り特定の商品を売り控えたりすることはありません。

- 時として、私たちが、他社との統合や他社の買収が財務的または効率的な観点から利益にかなうとものと判断する場合があります。しかし、そうした統合が関連業界における市場に競争へどのような影響を及ぼすかについて常に考慮します。市場の独占は意図した結果であってはならず、いかなる統合も企業と消費者の双方にとり、相互に利益を生むものでなければなりません。
- 私たちは、特に競合他社やディストリビューター（代理店）、その他顧客やサプライヤーとの関わりにおいて、**適用されるすべての競争法・独占禁止法**を順守します。
- 私たちは、既存顧客または潜在的な顧客が、最良の商品をご自身のために選択できることを望みます。従って、私たちの商品についてのいかなる**プロモーション表現**は、公正でバランスが取れており、適切な科学的根拠に基づくよう徹底します。
- 私たちは、特定の**適用される不正競争防止法等**に加え、対象となるプロモーション資料やその他の活動において、**社内の方針**に準拠します。

“ PHCグループの各社は、自らが提供する製品・サービスの価値において競争します。

コンプライアンスを確認するには？

不公正または競争を阻害する活動と見なされる活動を行う前に、それぞれの状況について判断するために、下記の点について考えてみてください。

?

私が参加している活動は、競争法・独占禁止法、不正競争防止法を完全に順守しているだろうか？

?

私の行動は、市場を弱体化したり、競争を不正に制限したり、消費者の利益を損なったりするものでないだろうか？

一部の合意や活動は、常に競争を阻害する行為と見なされる（ハードコアカルテルや当然違法な行為）一方で、対象となる合意や活動は、特定の事実や（市場の）状況に基づき判断が異なったり評価が必要なものもあります。



貿易コンプライアンス



i 貿易コンプライアンスとは？

貿易コンプライアンスとは、貨物、技術（ソフトウェアを含む）、サービス、または情報の二者間における輸出工程に設けられた規制をいいます。一例として、所定の国・地域との貿易やその他商業活動を公的に禁止する禁輸措置があります。PHCグループの貿易コンプライアンスには、規制リスト対象国への貨物・技術の輸出・提供を制限する措置や、従業員による規制リスト対象国に掲載された国・地域に関わる活動への関与を規制する措置が含まれます。

！ なぜ重要？

貿易コンプライアンスは、貨物、技術、またはサービスの、個人・企業間における安全な輸送を確実に行うためのものです。また、貨物、設計・製造を含む技術の不正使用や、製品の核兵器、生物兵器、化学兵器等への転用、テロ活動や戦争における軍事目的での使用を防ぐことを目的としています。PHCグループでは、全ての従業員が、貿易コンプライアンス及び国際的な平和・安定を促進することを目的とした取組みを固く実行することが求められています。



貿易コンプライアンスに関する私たちの規範

- 私たちは、貨物・技術の不適切な使用や、制裁対象として指定された国・地域への輸出・提供を行う可能性のある人物、企業、団体による貨物・技術の入手を防ぐために制定された、全ての[適用される法令](#)、規制、国内外の取組みを厳格に順守します。
- 私たちは、業者、サービスプロバイダー、その他の[第三者](#)ビジネスパートナーに対しても、同様の法令や規制を厳格に順守するよう求めます。
- 私たちが追求するビジネス機会が完全に合法的なものであることを確認するために、私たちは、必要な[デューデリジェンス調査](#)を行います。
- 私たちは、下記に掲げるものに関わりを持つと特定された個人または団体とは[取引を行わず](#)、支払やその他の金融取引において適用される規制を順守します。
 - 核兵器、化学兵器、生物兵器、またはそれに関わる活動
 - テロ活動または麻薬密売
 - 腐敗行為
 - 排除対象または制裁対象に加わること
 - 反社会的勢力及び彼らの活動（「反社会的勢力」のセクションを参照）
- 私たちは、関連する[反ボイコット法](#)を厳格に順守します。私たちは[反ボイコット法](#)に違反する契約や約束は絶対にしないよう注意を怠りません。また、顧客や第三者からそのような契約を締結するよう要求を受けた場合には、直ちに法務・コンプライアンス部門に連絡します。
- 私たちは、国際的な事業活動を行う前に、[貿易コンプライアンスの専門家](#)に相談し、私たちの組織への支援を得ます。

“ PHCグループでは、すべての従業員が貿易コンプライアンスの規則に従うことが求められています。

コンプライアンスを確認するには？

貨物や技術の輸出入を行う前に、それぞれの状況について判断するために、下記の点について考えてみてください。

私は、担当する貨物、技術、サービスの輸出入について関係国で適用される貿易規制が何かを確認しているだろうか？

特定の国のビジネスパートナーと取引をする時に、従業員として順守しなくてはならない具体的な規制はあるだろうか？

私は、輸出または再輸出しようとしている貨物・技術が、関係国・地域の関連法規により規制品目になっていないことを確認しただろうか？

私は、顧客、金融機関、取引先、その他の第三者を含む全てのビジネスパートナーに対して、規制対象リストに基づく取引審査を行っただろうか？また、そうした取引審査は、定期的に行われているだろうか？

インサイダー取引



インサイダー取引とは？

インサイダー取引とは、内部情報に基づいて、上場会社の株式またはその他の有価証券の取引（購入または売却）を行うことをいいます。内部情報、または重要な未公開情報とは、一般に公開されていない情報で、合理的な投資家であれば、その会社の有価証券の取引を判断するうえで重要な見なすような情報を指します。



なぜ重要？

市場で取引されている株式等のインサイダー取引や価格操作を行うことは、違法かつ社会の経済的健全性に直接影響を与える行為です。インサイダー取引やそれに近い不適切な行動の発覚は、会社のレピュテーションに深刻な影響を与えることがあります。従業員は、上場会社に関する機密情報を知り得る状況に置かれることがあるかもしれません。しかし、そうした情報を利用し、株式を購入、売却、寄贈すること、または、そうした情報を他者に提供したり、情報に基づき他者に助言を行ったりすることは違法となります。こうした情報に基づき行動した個人、責任がある従業員及び会社には、厳しい懲罰が科される可能性があります。

インサイダー取引に関する私たちの規範

- 私たちは、内部情報を保護し、インサイダー取引を防ぐために、適用される全てのインサイダー取引に関する法令や規制、PHCグループの社内規程を順守します。また、全ての内部情報は厳格に機密性を確保し、PHCグループの社内外を問わず、インサイダーに該当しない人には開示しません。
- 全ての内部情報は厳格に秘密として保持され、PHCグループの社内外を問わず、正当な「知る必要」がない場合、インサイダーに該当しない人には開示しません。「知る必要」のある個人にも、同様の内部情報保護を目的とした規程が適用されます。私たちは、特定の内部情報について、「**知る必要**」があるか否かが不確実な場合には、法務・コンプライアンス部門に相談します。
- 私たちは、**未公開情報を保護**するための対策を講じ、会社による公的な開示情報や公開情報が市場にて公になるまでの時間を確保します。会社により一般に公開されていない情報や、公的に入手できる状態にない情報は未公開情報です。開示文書やプレスリリースで開示されている情報は公開情報です。しかし、情報が一般に公開されたと見なされるまでには、広く知られるようになるために必要な一定の時間を経過することが必要とされています。
- 私たちは、PHCグループ全社において、また、私たちのビジネスパートナーの中にも、内部情報にアクセスを持つ**二種類**の重要なインサイダーが存在することを理解します。
 - **職制インサイダー**：部門における役割または責任の度合いに応じて重要情報にアクセスを持つ内部者
 - **プロジェクトインサイダー**：会社の機密プロジェクト、M&AやPHCグループにとって重要な機密なプロジェクトに関わる内部者

- 私たちは、様々な種類の**重要情報**について、またそれらをどのように保護すべきかについて認識するとともに、当社にとって重要と見なされない情報であっても、他社やビジネスパートナーにとって重要な情報になり得ることを理解します。重要情報には、下記に掲げるものが含まれます。

- 財務結果や見通し
- 事業統合、買収、売却の可能性に関する情報
- 臨床試験の結果
- サプライヤーやビジネスパートナーに関する大きな変更
- 新製品・サービスの上市計画
- 経営陣の交代
- 政府による調査や重要な訴訟案件

- 私たちは、従業員として、会社の重要な未公開情報について知りながら、PHCグループ（該当する場合）や他の上場会社の株式を**購入、売却、または取引**を行うことが禁止されています。私たちは、そうした取引が利益を得るためのものであるか否かに関わらず、インサイダー取引に関する規程が適用されることを理解します。
- 従業員は、PHCグループ外の人に対して取引における助言を提供したり、重要な未公開情報を提供したりしてはなりません。このような行為は、**インサイダーチップ行為**と見なされ、インサイダー取引規制への違反となるかもしれません。

- 私たちは、該当する場合には、取引事前**承認申請や取引禁止期間**における所定の規程手続きを順守します。
- 私たちは、個人及び会社のリスクを低減するため、インサイダー取引に関する懸念がある際には、**法務・コンプライアンス部門**に質問や**相談**をするよう努めます。



コンプライアンスを確認するには？

インサイダー取引の可能性が懸念される場合、それぞれの状況について判断するために、下記の点について考えてみてください。

私が持っている会社の情報で、
一般に公開されていない情報は
あるだろうか？

？
そうした情報を知ったうえで行
動することにより、経済的な利
益に繋がる可能性があるだろ
うか？ 例えば、利益の拡大や損失
の減少など

？
私は、インサイダー以外の
人や、知る必要のない人へ情報を
共有していないだろうか？

“市場で取引されてい
る株式等のインサイ
ダー取引や価格操作
を行うことは、違法
かつ社会の経済的健
全性に直接影響を与
える行為です。

書類の作成 と記録



書類の作成と記録とは？

「書類の作成と記録」には、すべての帳簿、記録、書信、注文書、ファイル、図面、計画書、文書、書類、電子メール、計算書類、電子ファイル、見積書、返信、およびその他の記録されたデータが含まれます。それらには、物理的・電子的書類と記録されたデータが含まれます。

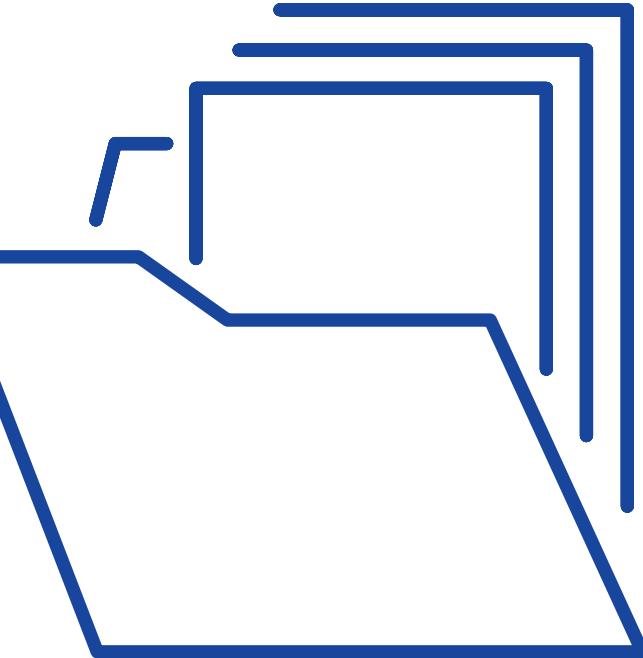


なぜ重要？

適切な書類の作成と記録は法律で求められています。適切な財務やその他の書類の記録がない場合、法的または規制当局から罰金や罰則が科せられる可能性があります。また、正確な書類の作成と記録を維持することにより、私たちの事業活動や業績を明確かつ正しく理解し、そしてそれらをステークホルダーに伝えられることが不可欠なのです。PHCグループは全ての従業員に対して正確な書類の作成と記録を実行することを求めます。

書類の作成と記録に関する当社の規範

- 私たちは、会社の規程に定められているように、会社のすべての取引およびその他の活動が、経営陣によって適切に承認され、かつ、経営陣の一般的または特定の承認内容に従って実行される必要があることに注意を怠りません。
- 私たちは、PHCグループの事業、取引、および他の活動を正確に反映し、当社が責任を負う財務およびその他の記録と計算書類（補足文書を含む）がタイムリーに作成されるようにします。
- 私たちは、全ての事業活動及び第三者との取引、特に医療従事者との取引、を適切に記録に残し、透明性を確保します。
- 私たちは、PHCグループの書類の作成と記録において、改ざん、破壊、遺漏、虚偽または誤解を招く記録などによるかどろかに拘わらず、記録の作成および維持に関連する改ざんや欺瞞を固く禁じます。
- 私たちは、適切な書類の作成と記録が維持されるよう注意を怠りません。
- 私たちは、必要に応じて社内および社外の専門家と相談し、書類の作成と記録の正確性に関する危険信号があれば、それらを報告してもらいます。



コンプライアンスを確認するには？

あなたが適切な書類の作成と記録を維持するため
に、次の質問を考えてみてください。

?

あなたは、該当する内部統制に
従っていますか？適切で正確な
記録を残していますか？

?

あなたは、経費とその領収書が
正しいことを注意深く確認して
いますか？

?

あなたの作成した記録は、正し
い状況やあなたの事業活動を正
確に反映していますか？

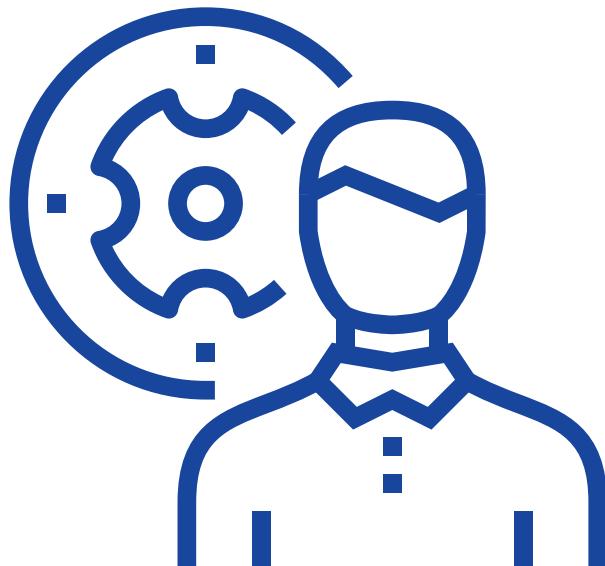
“ PHCグループは全ての従業員に対して正確な書類
の作成と記録を実行することを求めます。

コンプライアンスのより 良い順守に向けて

コンプライアンスを確認するために： 実践的なチェックリスト

日常業務を行うなかで、本行動規範のもと、特定の問題についてどのように判断すれば良いか確信が持てない状況や、特定の行動がコンプライアンスを順守したものかどうかについて疑問を抱く場面に直面することがあるかもしれません。

そうした状況においては、本行動規範の各セクションに記載した質問（「コンプライアンスを確認するには？」を参照）と併せて、下記の点について考えてみることで答えが得られるかもしれません。



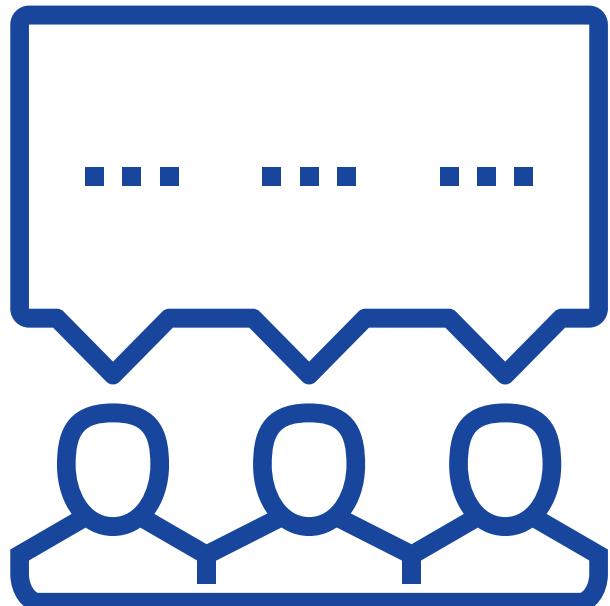
- 私の行動は、PHCグループの価値に準拠したものだろうか？
- 私は、PHCグループの行動規範及び会社の規程や、その精神に則って行動しているだろうか？
- 私の行動は、適用される法令や規制を順守したものだろうか？
- 私は、私の行動が、PHCグループや私自身にとって、悪い結果をもたらすものではないと確信できるだろうか？
- もし私の担当案件が新聞で報道されたら？私はそれでも自信を持っていられるだろうか？

声を上げよう

PHCグループは、不正な行為を予防するためにも、開かれた文化を奨励します。私たちは、法令、ルール、または社内規程への違反を予防するために、情報やリソース、助言を提供します。疑問を呈し、懸念を提起することは、PHCグループ全体にわたって強固なコンプライアンス文化を維持することの手助けとなるのです。

PHCグループまたはその事業会社または子会社の従業員として、あなたは、この行動規範の規定に違反するかもしれないと誠意をもって信じるいかなる行動について報告することが求められます。あなたが違反の疑いを報告する人や部門は、下記のいずれかです

- ▶ **直属の上司**
- ▶ **人事部門**
- ▶ **法務・コンプライアンス部門**
- ▶ **PHCグループのCEOまたはCEOへの直接の報告者**
- ▶ **PHCグループ監査役会メンバー**
- ▶ **コンプライアンスヘルpline**
詳細については下記を参考ください <https://www.phchd.com/global/csr/activities/helpline>



“ PHCグループは、不正な行為を予防するためにも、開かれた文化を奨励します。

私たちは懸念を報告する従業員を守ります。本行動規範、法律、規制またはPHCグループの規程に違反する恐れがあると信じて報告をした人はそのような報告を行ったことに対して報復を受けません。最大限可能な限りにおいて、報告されたすべての懸念は機密に取り扱われます。従業員は、報告の時点で誤ったあるいはミスリードするとわかっているコンプライアンス事項を報告することは受け付けられないことを理解しなければなりません。違反の恐れを報告する人に対する保護に関する質問はPHCグループの最高人事責任者またはゼネラルカウンセルに連絡してください。

ゼネラルカウンセルからの結び



PHCグループのすべての従業員、役員、および取締役は、この行動規範に精通し、高い倫理的規範を維持する責任があります。この責任には、あなたの仕事に影響を与える倫理的な問題に注意を払い、この行動規範に反することやあなたの日々の事業活動に関する法律、規制、やその他求められることへの違反に注意を払うことが含まれます。

管理職の皆さんには、より権限ある立場にいることから、この行動規範に示される原則の理解と順守を促す重要な責任を負います。他方で、すべての従業員は、違反の疑いを報告することを奨励されるにとどまらず、それらを報告する義務があります。何かおかしいと思ったら声を上げてください。

い。PHCグループの「Bad News First / Fast」の精神で、倫理的またはコンプライアンスの観点から求められる行動について疑問がある場合には、上司または法務・コンプライアンスチームのメンバーに相談して下さい、また、違反の疑いを持った場合には上記の「SPEAK UP（声をあげよう）」にリストされている人々やその他の連絡先に報告してください。

A handwritten signature in blue ink, appearing to read "Michael J. Kramer".

PHCグループ
ゼネラルカウンセル
イーフラム・スター

PHC
GROUP

PHC
GROUP